

令和8年3月24日

3学期終業式



本日は、1年間を締めくくる節目である3学期終業式です。

皆さんは、1年前と比べて「成長」できたでしょうか？

つい先日、本校でも合格発表がありました。やはり高倍率を勝ち抜いて、涙を流して合格の喜びをかみしめる姿をたくさん見て、この学校で高校生活を送ることにこれだけ慣れてきてくれるんだなと思いを新たにしました。

1年生の皆さん、あの時に気持ちや決意は今も持ち続けられていますか？ きっと一生懸命勉強と部活動に励んで、自己の成長に向けてたくましく取り組もうと決意したのではないのでしょうか？ あの時の自分が、今の自分を見たときに、この道を「正解」だったと胸を張って言えるのでしょうか？ 是非とも、そうであってほしいと思います。もし、違うのであれば、まだまだここからです。新2年生として、いつまでも子供ではなく、しっかりと自立し、頼もしい「大人」になってほしいと思います。

2年生の皆さん、1年後の春には再び同じような合格への審判が待っています。次のステージに立てるかどうかは、これからの1年間の取組で変わってきます。一番残念なのは、結果として「不合格」であることよりも、「もっと真剣に取り組んでおけばよかった」と後悔することです。未来は、今を変えることで変えられます。皆さん一人一人、今の延長線上に望むような未来が見えますか？ それとも今の取組を延長すると、後悔している未来につながっていますか？ 一度、今のあり方を振り返ってみてください。そして、変わらなければと感じるのであれば、今この瞬間からマインドを変えてみましょう。

よく、「やる気が出ないんです」なんて言葉を聞きます。そんなものが外からもらえるのを待っていたら永遠に変わりません。「やる気」は自分の内側からしか生まれません。

では、どうすれば「やる気」が生まれるのか？

それは、意外にも「そんなふうに振舞ってみること」が答えです。よく「悲しいから泣くのではなく、泣くから悲しくなるのだ」と言います。下を向きながらポジティブに考えることができないし、笑うこともできませんよね。つまり、「形」や「姿勢」から先に変えることで、心や気持ちが変わるという法則を応用することです。勉強もやる気が出てから始めようと思っても、いつまでも始められません。逆に無理やりにも机に向かい10分間我慢して始めてみることを自分に課すと、よほど体調が悪くない限り、やっているうちに気づけばゾーンに入るくらいに頑張れるのです。

1年間、児安坂で皆さんの登校を見続けましたが、にこやかに挨拶しながら通過する生徒と、重苦しく元気なく登校する人がいましたが、きっとこの後の学校生活の充実度は違うんだろうと推測しています。

とにかく、是非「形」から変えていきましょう。そうすれば、気持ちや心持が変わって、その先の未来の姿も確実に変わってきます。まずは、この春休みの取組がスタート時期です。皆さんが新学期に向けて、いい助走をきることができるよう期待しています。